

# やまがた認知症カフェ通信 2019 5月号

令和元年5月22日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

## 県の新規事業「認知症サポーター等活動促進事業」の募集が始まりました！

県は、認知症の人や家族に対する早期からの支援に向け、15万円を上限に補助を行う「認知症サポーター等活動促進事業」の募集を開始しました。

この事業は、地域における認知症の人や家族の困りごと等の支援ニーズと認知症サポーターをつなげる仕組みを構築し、認知症の人や家族に対する早期からの支援を図ること、認知症サポーターが活躍する体制がつくられることを目的としています。具体的には、市町村又は一定の条件を満たした団体から下記の[事業内容]の企画提案を募集し、優れた提案を選び、補助を行います。

[事業内容]の中には、孤立しないための関係づくりとして、認知症カフェへの誘いや同行も想定されています。認知症カフェ等を主催されている関係機関の方々は、この機会にぜひご応募ください。

詳しい内容や募集の方法等をお知りになりたい場合は、県ホームページをご覧ください。県長寿社会政策課担当者(☎023-630-3121)までお問い合わせください。

### [ 認知症サポーター等活動促進事業内容 ]

- ・認知症の人等の身近な困りごと等を把握するコーディネーターを適宜配置する。
- ・コーディネーターは、研修を通じてさらなるステップアップを図った認知症サポーターのチームを編成し、把握したニーズとチームとのマッチングを実施する。
- ・チームによる外出支援、見守り・声かけ、話し相手、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり(認知症カフェへの同行、運営参加等)を実施する。

※コーディネーターの資格等は、特別必要ありません。

## さくらんぼカフェより -利用されるみなさんと共にある「認知症カフェ」として-

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

さくらんぼカフェに来訪される方々の中には、医療、介護等の支援をすでに受けており、様々な相談や要望を聞いてもらえる環境が整っているように思える人が少なくありません。では何故、さくらんぼカフェへ来訪されるのでしょうか。

認知症の人やその介護家族等の当事者は、認知症を要因とする何らかの不安を常に抱えています。その不安からか、与えられた情報や助言に対し疑心暗鬼になる傾向があり、なるべく多くの方からの情報や助言を基に比較判断したいとの思いが強いようです。

さくらんぼカフェでは専門的な説明や提案よりも、当事者の方が抱えている疑問や不満、不安を受け止め、理解しやすいように時間をかけて話し合うことを大切にしています。自ら情報を整理し判断できるように手助けするようなイメージです。また、当事者同士での情報交換や意見交換により、更に判断材料を多く得ることができる場となっています。

各専門機関での相談と、さくらんぼカフェでの相談・交流は、似て非なるものですが、当事者にとっては双方ともに必要で、相乗効果をもたらすものだと考えています。

双方でワンパッケージと言っても過言ではないかもしれません。100人100通りの

悩みや疑問、不安を持つ来訪者に対し、オーダーメイドの対応を究極の目標としています。



県内の認知症カフェに携わる皆様、カフェにおける相談や会話、交流がもたらす効果は地味に感じるかもしれませんが、決して小さいものではありません。これからの社会や地域には必要不可欠なものであることは言うまでもありません。皆様のご活躍に刺激されながら、さくらんぼカフェも頑張っています。

## カフェをきっかけに

**佐藤 裕明** (ケアセンターとこしえ三泉)

**国井 孝子** (デイサービスあなたとえがお)

寒河江市の認知症カフェは、ケアセンターとこしえ三泉と  
デイサービスあなたとえがおが、市から委託を受け運営しています。

今年度から、オレンジカフェと名称も変え、フローラ SAGAE の4階に場所を移しリニューアルしました。

カフェでは、コーヒーのいい香りのなかで、それぞれのテーブルでご本人やご家族同士で話し、思いを共有したり、困りごとを相談したりできるように雰囲気づくりを大事にし、また、認知症サポーターステップアップ講座を受講し学びを深めた認知症サポーターの方々にもオレンジサポーターとしてスタッフ協力していただいています。ご本人やご家族から「来てよかったあ」と言っていただけることが、運営の方向性の確認となっています。

ご本人やご家族が率直な話をする事ができて、ホッとしたりスツツしたり気持ちがほぐれる、そして気持ちを分かち合えた実感から自然と笑顔になる、そんな時間を共有できることは、集った人の誰もがあたたかいやさしい感情をもらいあうこととなり、結果的には、誰のためとかではなく自分のためになっていることに気づきます。

カフェをきっかけに生まれた交流や気づきが、ご本人やご家族にとって日々の暮らしの励みになるように、そして、身近なところで認知症サポーターなど地域の方々の認知症へのやさしさが広がるように願いながら、日々、カフェのあり方を模索し、人がつながりあうきっかけづくりをしていきたいと思ひます。



## インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

### 本年4月1日 独立行政法人国立病院機構山形病院に 認知症疾患医療センター(連携型)オープン！

- ・物忘れが気になる
- ・認知症かもしれない
- ・家族が介護するなかで困っていることがある

こんなことでお悩みの方は専門医療相談と鑑別診断(完全予約制)を受けることができます。

相談や診断をご希望の方は

下記のお問い合わせ先にどうぞ

独立行政法人国立病院機構山形病院  
地域医療連携室 認知症疾患医療センター

TEL (Fax 共) 023-681-9477

受付時間 平日(月~金) 9:00~17:00



## カフェ情報

### カフェらくせい(山形市)

地区社協、民生委員、福祉協力員、皆さんで介護を予防する活動や情報交換などの居場所づくりが話し合わせ、認知症地域支援推進員等と地域に位置する医療法人社団楽聖会の理解でクリニック休日の曜日に開かれています。

開催日: 毎月第4水曜日

午後1時30分~午後3時

参加方法: お茶代として100円頂きます。

持ち物: 内履き・動きやすい服装で。

内容: 簡単な体操や歌とおしゃべりなど。

問合せ先: こころのクリニック山形

(リハビリテーションセンター「らくせい」)

電話: 023-682-7575

発行元: 山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)

電話・来所相談・カフェオープン月曜~金曜日 昼12時~午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。